

2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月13日

上場会社名 株式会社 協和エクシオ
 コード番号 1951 URL <http://www.exeo.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 船橋 哲也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員財務部長 (氏名) 樋口 秀男

TEL 03-5778-1105

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	333,739	34.8	17,571	11.2	17,955	3.1	10,840	63.5
2019年3月期第3四半期	247,625	25.8	15,801	13.6	17,418	16.7	29,719	203.7

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 12,051百万円 (55.4%) 2019年3月期第3四半期 27,043百万円 (129.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	96.98	96.78
2019年3月期第3四半期	296.51	295.45

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	413,742	267,094	63.7	2,370.89
2019年3月期	416,483	267,811	63.4	2,343.43

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 263,568百万円 2019年3月期 263,896百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		32.00		38.00	70.00
2020年3月期		40.00			
2020年3月期(予想)				40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	495,000	16.8	32,000	0.9	32,800	1.9	21,800	45.8	195.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.8「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	117,812,419 株	2019年3月期	117,812,419 株
2020年3月期3Q	6,643,861 株	2019年3月期	5,201,053 株
2020年3月期3Q	111,783,591 株	2019年3月期3Q	100,230,560 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足資料の入手方法)

決算補足資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年12月31日）におけるわが国経済は、消費税増税に伴う景気への影響に加え、米中貿易問題や米イラン関係の悪化など不安定な国際情勢を背景に先行き不透明な状況にあるものの、当社グループ事業に関連する情報通信分野におきましては、IoTやAI、ビッグデータ解析技術などの普及によりデジタル・トランスフォーメーションが進行するなどICT投資は活況で、各通信キャリアにおいては5Gサービスの開始に向けて基地局の設置が徐々に進行し、設備投資は引き続き堅調に推移しました。

また、建設分野におきましては、東京オリンピック開催に向けたインフラ整備や都市開発などの工事がピークを迎えるほか、災害対策のためのインフラ補修・強化もあり公共投資も引き続き増加しました。

このような環境下において、当社グループの主力の通信キャリア事業は、固定通信・モバイル通信工事とも受注が好調に推移し、成長事業に位置付ける都市インフラ事業とシステムソリューション事業は、太陽光発電施設の大型工事や教育機関等へのソリューション案件を受注したほか、M&AによるSIビジネスの基盤強化やAPAC地域におけるグローバルビジネスの拡大に取り組みました。

また、2019年11月に開催された「天皇陛下御即位記念 第57回技能五輪全国大会」の情報ネットワーク施工職種において、当社社員が金メダルを獲得しました。今後も優秀な技術者の育成を図り、高い施工技術で社会に貢献してまいります。

これらの取り組みの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、受注高は4,198億9千6百万円（前年同期比144.0%）、完成工事高は3,337億3千9百万円（前年同期比134.8%）となりました。損益面につきましては、営業利益は175億7千1百万円（前年同期比111.2%）、経常利益は179億5千5百万円（前年同期比103.1%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は108億4千万円（前年同期比36.5%）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の概況は、次のとおりであります。

（単位：百万円）

報告セグメント	協和エクシオ グループ (注) 2		シーキューブ グループ (注) 3		西部電気工業 グループ (注) 3		日本電通 グループ (注) 3	
	金額	前年 同期比	金額	前年 同期比	金額	前年 同期比	金額	前年 同期比
受注高 (注) 1	288,247	112.9%	54,516	353.4%	47,015	368.6%	30,117	369.7%
完成工事高 (注) 1	218,921	103.4%	51,987	352.3%	35,934	267.5%	26,896	345.9%
セグメント利益	12,683	88.4%	3,298	423.6%	691	116.1%	1,112	795.3%

(注) 1. 「受注高」「完成工事高」については外部顧客への取引高を記載しております。

2. 報告セグメントにおける協和エクシオグループには、シーキューブグループ、西部電気工業グループ、日本電通グループを含んでおりません。

3. 前第3四半期連結会計期間において、当社を株式交換完全親会社としシーキューブ株式会社、西部電気工業株式会社及び日本電通株式会社を株式交換完全子会社とする各株式交換を実施したことにより、各社及び各社の連結子会社を前第3四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(協和エクシオグループの概況)

通信キャリア事業におきましては、モバイル通信工事の受注が好調なほか、台風などの自然災害によって被災した地域の通信設備の復旧などに尽力しました。都市インフラ事業におきましては、データセンタの大型工事などを受注したほか、全国の空港や高速道路の電気通信工事に取り組みました。システムソリューション事業におきましては、システム保守・運用の大型案件などを受注したほか、近年の多様化・巧妙化するサイバー攻撃に対して、お客様の情報資産を守る最適なソリューションを提案・構築する組織を立ち上げ、セキュリティ分野の一層の強化を図りました。

(シーキューブグループの概況)

通信キャリア事業におきましては、NCC分野の無線基地局工事が堅調に推移し、システムソリューション事業におきましては、企業や公共機関向けのPC等の機器導入案件やシステム改修案件などが好調に推移しました。

(西部電気工業グループの概況)

通信キャリア事業におきましては、主要顧客から高度無線環境整備のための伝送路工事を受注したほか、光開通工事などが引き続き堅調に推移し、都市インフラ事業におきましては、新築ビルの電気・機械設備工事などに取り組みました。

(日本電通グループの概況)

都市インフラ事業・システムソリューション事業におきましては、高速道路や国道の通信設備工事、サービスエリアのPOSシステム等の販売機器導入案件などの受注が好調に推移し、通信キャリア事業におきましては、NCC分野の無線基地局工事の受注などが順調に推移しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ27億4千万円減少し、4,137億4千2百万円となりました。これは主に未成工事支出金等の増加があったものの、受取手形・完成工事未収入金の減少によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ20億2千3百万円減少し、1,466億4千7百万円となりました。これは主に社債の増加があったものの、支払手形・工事未払金及び短期借入金の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ7億1千7百万円減少し、2,670億9千4百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加があったものの、自己株式の取得による減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月14日に発表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	41,805	46,596
受取手形・完成工事未収入金	156,361	94,579
有価証券	895	897
未成工事支出金等	38,401	74,756
その他	4,403	11,580
貸倒引当金	△158	△156
流動資産合計	241,708	228,254
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	31,603	34,277
土地	55,403	59,016
その他(純額)	10,948	12,010
有形固定資産合計	97,955	105,305
無形固定資産		
のれん	10,259	12,497
その他	4,502	4,410
無形固定資産合計	14,762	16,908
投資その他の資産		
その他	62,541	63,633
貸倒引当金	△485	△358
投資その他の資産合計	62,056	63,274
固定資産合計	174,774	185,488
資産合計	416,483	413,742

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	59,265	45,700
短期借入金	13,069	6,094
未払法人税等	7,498	3,504
未成工事受入金	5,487	10,849
引当金	4,595	3,538
その他	24,489	17,619
流動負債合計	114,406	87,307
固定負債		
社債	10,000	30,000
長期借入金	4,659	10,229
引当金	604	733
退職給付に係る負債	9,283	8,647
その他	9,718	9,729
固定負債合計	34,265	59,340
負債合計	148,671	146,647
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,888	6,888
資本剰余金	47,868	49,726
利益剰余金	204,647	206,735
自己株式	△6,534	△11,984
株主資本合計	252,870	251,365
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,603	6,212
為替換算調整勘定	△65	△296
退職給付に係る調整累計額	6,488	6,286
その他の包括利益累計額合計	11,026	12,202
新株予約権	355	312
非支配株主持分	3,559	3,213
純資産合計	267,811	267,094
負債純資産合計	416,483	413,742

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）
完成工事高	247,625	333,739
完成工事原価	214,676	290,003
完成工事総利益	32,949	43,735
販売費及び一般管理費	17,147	26,164
営業利益	15,801	17,571
営業外収益		
受取利息	13	25
受取配当金	503	719
その他	1,454	1,070
営業外収益合計	1,971	1,815
営業外費用		
支払利息	29	152
その他	325	1,279
営業外費用合計	354	1,431
経常利益	17,418	17,955
特別利益		
負ののれん発生益	18,313	—
特別利益合計	18,313	—
税金等調整前四半期純利益	35,732	17,955
法人税等	6,093	7,080
四半期純利益	29,638	10,874
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△80	34
親会社株主に帰属する四半期純利益	29,719	10,840

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	29,638	10,874
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,195	1,606
為替換算調整勘定	△20	△227
退職給付に係る調整額	△379	△202
その他の包括利益合計	△2,595	1,177
四半期包括利益	27,043	12,051
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,150	12,017
非支配株主に係る四半期包括利益	△106	34

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。